

女性の就業応援ジャーナル

FIELD

vol.
04

2023

働くスタイルは千差万別。
きつと見つかる
自分らしく輝ける場所

フィールド



働くスタイルは千差万別。

フィールド

きっと見つかる自分らしく輝ける場所



仕事のブランク、家事や子育て、介護など、様々な理由から就業に踏み出すことをためらっていませんか？ 県内には働きたい人が活躍できる条件が整った多くの企業があります。さらに、起業して経営の道を目指す女性への支援も充実しています。

今回は、企業経営に携わるお二人に女性の就業について伺いました。

森田（奈良県こども・女性局女性活躍推進課長）：最初に、自己紹介を兼ねて、お二人のこれまでのお仕事について伺いたいと思います。

瀧井智美：私は2003年から女性のキャリア支援の仕事をはじめ、5年間は男女共同参画センターで女性のキャリア相談に乗ったり、チャレンジ広場を作るということを担当していました。当時から「再就職するなら自分のキャリアが上がるような働き方を選びたい」とか、「時間や場所を選ばなければ、もっと働ける」という相談が多かったです。

す。日本の企業では制度は整っているのですが、実際に産休や育休制度を使うと他の人の負担になるからと使わず退職する人が多かったんです。そんな企業風土を変えるには、出産・育児といたつたライフイベントを社員間で協力し合う雰囲気づくりが大切なんです。そこで2008年からはICBを立ち上げ、ワークライフバランスとダイバーシティをテーマに、企業の中で様々な働き方改革のプロジェクトや女性リーダー育成などに関わらせていただいています。

井尻祥子：私は看護師として市



内の病院で勤めていました。その間、3人の子どもをもうけましたが、職場環境がすごく整っている病院であったため、夫が朝早くから夜遅くまで大阪で働いている状況でも看護師として働き続けることができたんです。23年間、働き続けましたが、介護保険制度が導入され介護事業の一端を垣間見て、感銘を受け介護事業を起業しようと思いい立ちました。現在、地域にお住まいの方々の支援を中心にした在宅支援事業を運営しています。

森田：お二人ともご自身が目指す仕事の実現に向け、チャレンジされてきたんですね。これまで様々なハードルがあったと思いますが、社会における女性の就業環境についてどのようにお考えですか？

瀧井：今、女性活躍3.0の時代がやっと来たといわれています。1.0

はい。つだったのかというところ、男女雇用機会均等法が施行された時です。ただし、あの法律ができて変わったのかというと、正直、あの時代は長時間労働が主体で、その働き方に合わせられる人しか残れない時代でした。だから、出産を機に退職される方が多かったんです。

井尻：男性並みに働けるということとを評価していた時代ですよね。

瀧井：「24時間戦えますか」というCMの歌があったくらいで、でも、それでは女性活躍は進みません。次に「働き続けられる環境をつくりましょう」と推奨されたのが2.0へ進んだ時期です。その時に「ワークライフバランス」と「両立支援」という言葉が広まって、かなり制度が整い、長期育休や短時間勤務の制度ができたり、フレックスタイム制の導入が進みました。2.0に進んだ時のキーワードは「働きやすさ」です。今、3.0の時代になっていわれているのが「働きがい」とい

うことです。それは、育休後仕事に復帰して、責任ある仕事を任せてもらっているかということ。育児を体験すると、人はすごく成長するものです。だから仕事はもちろん、貴重な育児や様々な経験を積んだメンバーが、自分の持てる力を職場で最大限発揮できるように支援していく、というのが女性活躍3.0で、それを後押しするのが女性活躍推進法です。やっと女性活躍3.0まで進んできたので、就業を目指す女性にとってはチャンスです。その割に就業率が伸び悩んでいるのは、共働きが増えてきているのに夫が家事・育児に参加できていなくて、妻が両方やらないといけないからです。だから二の足を踏んで、再就職したいけれど一歩踏み出せないという思い込みの「枠」を作っているケースも影響しているのかなと思います。あまり自分の枠を作らずに就業にチャレンジしてほしいですね。

今まで
自分が築いてきたことをどう役立てられるか、伝えられることが仕事につながる

瀧井：私の娘が一昨年出産して、出産後、9カ月で職場復帰しました。保育園に預けている子どもは、夫が16時までの時短勤務というところで保育園にお迎えに行つて、夕食を作つて食べさせ、寝かしつけている頃に、娘が帰宅するという生活を送っています。育児も家事も完全に分担することとは、若い世代では当たり前になつてきているようですが、再就職を希望される世代では、まだ、性別に対する役割意識が強い方が多いようです。そんな女性のキャリアの相談に乗っていると「子育てしかしていないけど再就職できますか」という方が多いです。

井尻：子育ては立派なキャリア

子育ては立派なキャリア！ 自分に自信を持って就業にチャレンジ

子どももサポーター！ キャリアアップに

大切なのはパートナーシップ

ですよね。介護の仕事では子育てを通して身に付けた力はとても役立ちます。子育てしながら働く、みな段取りしながら仕事している、急に何かあったときの判断力や対処の仕方が速いですね。仕事での顔、母としての顔、ご近所での顔といろんな顔を使い分けているので、コミュニケーション能力も高い。アクティブに自分の人生を切り拓いていこうという女性も多いと思います。

瀧井：仕事と生活は別ではありませぬ。それなのに、仕事をしていないとキャリアが止まっていると思ひ込んでいる人が多いです。今まで自分が築いてきたことをどう役立てられるか、上手く伝えられたら、仕事につながっていくはずですよ。

自分の良さを

活かせるところから増やしていける、
できることを選択肢

森田：次の一步を踏み出すためには、どのようなことを大切にすればいいでしょうか？

瀧井：私は子どもが3人いますが、一人目を産んだ時、専業主婦をしていた時期があるんです。そこから再就職するのが大変で、スキルアップするのも大事と思つて、パソコン教室に通いはじめました。その時、先生から「瀧井さんは、同じことを何回聞いてもいやな顔しないでくださいね」と言ってもらいました。私は元々、金融関係の会社で働いていたので、わかりにくい金融商品を高齢のお客様でもわかりやすい言葉で説明したり、何回も同じ説明をしたりということが全然苦じゃないんです。これって自分の強みですよ。自分分の良さを活かせることを考えたら、選択の幅は広がるもの。だから、「これしかない」と限定しないで、できることを選択肢を増やしていくと思ひます。

森田：自分を再評価するというプロセスは大事ですね。

瀧井：パートナーシップも大切ですよ。「私はこんなふうに関わりたい」ということをパートナーに伝えることで応援してもらええるもの。あと子どもも立派なサポーターですよ。働きはじめて、子どものことができなくなると思われられるかもしれないが、そんなことはありませぬ。むしろ子どもができることを増やしてあげることが大事です。

井尻：親が社会とつながるって、子どもにとつてもいいことですよ。社会とつながること、子どもに対する見方や接し方が変わってきます。

瀧井：今、それを実感しています。一番下の子が高校1年生なんです。中学・高校の頃つても仕事のことに関心が高まる時期みたいなんです。進路選択の相談の時に自分が働いているからこそアドバイスできる



井尻祥子さん

こととがありますよね。

井尻：私は一番上の子が小学校1年生の時に、仕事を辞めようか悩んだことがあるんです。40数年前は専業主婦の方が多く、子どもの小学校のクラスでは働いているお母さんが少なかったんです。子どもに寂しい思いをさせているのではないかと不安になつて、辞めるかパートになるかと悩みました。すると長女が「私は働いているお母さんが自慢だから、お仕事辞めないで」と言ってくれたんですよ。

瀧井：娘さんはお母さんの背中を見て育たれたのですよね。

井尻：母親がどう生きているか、小学校1年生の子どもでもわかるんだと思うと、うれしくて泣いてしまいました。あの時の長女の言葉がなければ仕事を辞めていたと思ひます。

株式会社ICB
代表取締役
瀧井 智美

金融機関勤務後、コンサルタントなどを経てキャリア開発・組織活性化・人材育成を支援する株式会社ICBを設立。大学や企業などで講師として活躍中。

充実したキャリアを重ねるために大切にしたいサポートしてくれる存在

森田：井尻さんが運営する介護事業では、多くの女性が活躍されています。これまでを振り返り、また今後に向けてどのようにお考えですか？

井尻：看護師は天職だと思って

働き続け、看護師長を10数年間勤めていました。ところが介護保険が導入されるようになった2000年頃、病院経営が厳しい時代に入ってしまったのです。病院の方針に違和感を覚えて、定年までこんな気持ちで仕事するのかもしれないと、しんどくなって。介護保険導入時にケアマネの資格を取得し、介護の仕事に携わった時、「やりがいを感じるし、やってみようかな」と思ったんで

す。ところが「やりがいを求めて仕事している人ばかりじゃない、みんな家族を守るために必死で働いている、それを看護師を辞めて起業するなんてとんでもない」と夫に反対されました。でも働いていたので自己資金で起業できますよね。すると娘が「お母さんのお金だから、好きなように使ってもいいんじゃない」と言うてくれたんです。結局、それで踏み出しました。

森田：女性が経済的に自立していることは大事ですね。

井尻：ただ、お金があっても支援がなかったらできません。当初反対していた夫も保証人になってくれ最終的には、支援してくれました。介護は圧倒的に女性が多い仕事です。会社設立時には女性が働きやすい環境を作ることに注力してきました。だから、うちは女性管理職が85%と高いです。介護の現場は利用者さんからうれしいコメントをいただいたり、ご家族から感謝されたりということがいっぱいあるんですよ。続けているうちに、仕事に対してやりがいを感じ、パートから正規職員に変わっていかれる方が多いです。介護の仕事は家事がそのままキャリアに

なります。生きてきたすべてがキャリアになる仕事だと思っています。

森田：いきいきと働く職場の雰囲気伝わってくるようですね。

最後にありますが、就業を目指す女性にメッセージをお願いします。

井尻：みなさんが今まで生きてきた中で、培ってきたこと、苦しんだり悩んだりしたことすべて、ご自身の人間性として備わっています。それはどんな業種でも働くことになっても活かしていること。今、就業活動中のみさんからこれから希望される方向へバトンを受け渡すことにつながると思うので、あなたらしく働ける職場でがんばってください。

瀧井：私も最初は一人で育児と仕事を両立させていました。でも3人目が生まれた時、はじめて夫とどんな家庭を築きたいか話し合い、そこで夫も応援者になってくれたのです。自分を支援し応援してくれる人を増やしてください。そしてネットワークを広げていきながら、就職や起業への一歩を踏み始めてほしいですね。

森田：お二人とも本日はありがとうございました。

有限会社ナイスケアサポート
代表取締役
井尻 祥子

25年間看護師として勤務後、地域の高齢者福祉の拠点として有限会社ナイスケアサポートを設立。介護事業を展開中。

自分らしく働ける場所 それが私のNext Stage

starting a business

起業

植物の力をゆっくり感じてほしい」との想いを込めて、「jiwajiwawa」というブランドを立ち上げ。高取・東吉野・宇陀・天理など奈良県南部・東部の植物や吉野のひのきなどを使った、入浴剤やせっけん、アロマスプレーなどを展開。奈良県産のモノづくりを通して、働く人や場を増やす「奈良の地域循環を生むプロジェクト」でもあり、障がい者や高齢者といった方々と共にものづくりをして発信していく取り組みを続けています。また、吉野に「jiwajiwawaな、おうち」を開き、薬草の足湯体験や菜食料理、ワークショップなどを主催するなど多岐にわたって活動中です。



チアフル株式会社

〒639-3321
奈良県吉野郡吉野町三茶屋
☎0742-42-6268

地域の資源を活用した商品や体験を提供する事業を展開している。社名は、「応援する」を意味する英語に由来。「しあわせを繋いでいく、広げていく」を合言葉に、ダイバーシティやシェアリングエコノミーの考えに基づき事業を組み立てる。創業当初からリモートワークを導入。

住宅メーカーで勤務していた時、全国各地へ出張しました。経済も情報もスピーディーに動いている都市と違って、地方は経済の動向がゆるやかで、ゆっくりと時が流れている感じ。そんなところに魅力を感じたのですが、地方では都市との経済格差に苦しんでいるのが現実でした。地方の魅力に触れたからこそ、その資源を活かせないかと考えるようになったのです。

それまで、起業を考えていたわけではなかったのですが、自分らしく生きるためには起業しないと後悔すると思いつきました。ちょうど体調を崩し、働き方や生き方を見つめ直していたこともきっかけです。

起業にあたり注目したのが、生まれ故郷・奈良で毎年開催されていたイベントで偶然出会った薬草・大和当帰（ヤマトトウキ）です。大和当帰を入れたお風呂に入ったところ、冷え性の体が芯から温まったんです。これまでも数多くの入浴剤を使っていますが、化学成分が入っているのが気になっていました。そこで、地方の魅力に目覚め奈良への関心が高まっていたこともあり、無農薬

で安心な奈良県産の薬草・植物を使った自然派の入浴剤を作ろうと思いつきました。

会社を立ち上げ、商品の原材料調達・製造工程の検討・依頼先の選定などを進めました。原材料は、顔の見える県内生産者から仕入れているほか、製造は社会福祉法人や農業法人など多様な組織と提携し、障がい者や高齢者の方が、一つひとつ手作業で仕上げています。また、生産管理や情報発信には子育て中の女性が在宅ワークで、業務委託の形態で働いてもらっています。これからも繋がりをもち、地域の仕事創出にも役立てたいと考えています。地域の資源に販路をつくり、障がい者や高齢者、子育て中の女性たちの仕事を創出し、奈良に新しい地域循環を生み育てる、存在価値のある会社でありたいです。

（取材日）2023年1月



「自分らしい生き方」のために 故郷・奈良で一念発起

松本 梓さん

チアフル株式会社
代表取締役

大学卒業後、大手住宅メーカーに就職。30歳前に身体の不調に悩まされるようになった時、地元・奈良産の当帰を使った入浴剤に出会う。効用に感動し大和当帰のよさを広めたいと商品化。



job change

転職

弊社が大切にしているのは何よりも人柄です。永井さんは食品業界の経験はありませんが、証券会社で営業として誠心誠意お客様に接してこられました。仕事に向き合う真摯な人柄で必ず活躍してくれると信じ採用しました。



執行役員
管理事業本部長兼
総務人事部部長
塘(とも) 隆典さん

仲卸・青果業でスタートした会社なので男性中心でしたが、デリカ事業に参入してから女性が増えました。食がクローズアップされている今こそ、永井さんが営業の最前線で活躍することが、会社の活性化につながると期待しています。



経営企画部 地域連携担当
執行役員兼部長
村山 光代さん

証券会社の営業から お惣菜のスペシャリストに

永井 小紀子さん



株式会社フルックス
ミールソリューション事業本部
デリカ営業部 係長

証券会社で9年間勤務後、母の体調不良を期に納得できることをやってみたく退職。視野を広げるため食品業界を志望し、転職した株式会社フルックスのデリカ営業部で活躍中。

入社後は営業職として、主にスーパーマーケットでお惣菜を作るための業務用ミールキットとカット野菜を販売しています。週2、3日くらいは担当スーパーに出向いて、惣菜のバイヤーさんと一緒に他社さんも含めて、試作作りに取

近感を覚え、この会社で働きたいと思いました。

フルックスグループ

〒639-1032
奈良県大和郡山市池沢町230番地
☎0743-59-6776

フルックスグループは、(株)フルックスホールディングス、(株)フルックス、(株)味の大路からなります。

青果物を中心に、卸売事業、飲食・リテール事業、カット野菜やミールキット製造、惣菜製造事業を展開、多様化する食品ニーズを支えています。

り組んでいます。同じ営業職でも業種業界が違えば勝手は違うもの。一番困ったことは食品に対する知識不足でしたが、会社で惣菜検定の資格取得のキャリアアップ支援があり利用しました。資格を取ったことで知識が身につく、自信を持って自社製品を勧められるようになりました。今後はスーパーの惣菜キットはもちろん、個人のお客様向けの商品提案を増やしていきたいですね。そのために伝統野菜などの奈良のブランド力を活かした商品を提案できればと思っています。

(取材日) 2023年1月

くなくなってしまいました。さらに、リモートワークが増え在宅時間とともに、母を心

新型コロナウイルスが世界を席捲した年、実家の母が体調不良を訴えるようになり、勤務していた会社は他府県だったため、コロナ禍で気軽に帰れな

配する時間も増えたことをきっかけに、「自分が納得できることをやってみたく」と考えるようになり退職しました。実家に戻ってから、転職活動がうまくいかず途方に暮れていたところ「働く女性は忙しいので少しでも食事のサポートがしたい」との理由で、食品関係の仕事をしている知人がいたんです。「これだ」とひらめき、求人募集企業をリサーチするとフルックスがヒットしました。大阪在住ですが、奈良県には中学・高校・大学と通っていて、馴染みがあった地域の企業ということで親





なら女性活躍推進倶楽部

なら女性就職応援ナビ

なら女性活躍推進倶楽部ポータルサイト始動!

「なら女性活躍推進倶楽部」では、さらなる会員企業の魅力発信と企業の求人活動の活性化、またそこで働きたい女性の就職マッチング支援を図るため、「なら女性就職応援ナビ」を開設しました。

奈良県での女性活躍推進に係る情報発信をはじめ、倶楽部活動の取組やこれまでに作成した動画やジャーナル、さらには各企業・事業所の求人情報まで、一元的に集約・発信します!

～女性活躍推進にかかる取組情報発信～

- 女性活躍推進に関するセミナーやイベント情報の発信
- 会員企業の魅力を詰め込んだ動画やジャーナルの掲載
- 男性の育児参画応援事業や県求人掲載サイト等へのリンク

～会員企業に関する情報発信～

- 倶楽部会員企業の検索機能整備や各企業のホームページ等へのリンク
(エリア、業種、求人職種、女性活躍の取組など)
- 会員企業からのメッセージ掲載(女性活躍推進宣言)

これらのコンテンツに加え、今後も会員企業様と協力しながら、より充実した魅力的なポータルサイトへと進化していく予定です!

ぜひチェックしてみてください!



<https://jokatsuclub.pref.nara.jp/>

なら女性活躍推進倶楽部 会員企業・事業所一覧 (147企業・事業所 令和5年1月末)

中井総合会計事務所 株式会社福嶋組 たけや興業株式会社 社会福祉法人青垣園 株式会社M.T.C 社会保険労務士法人アウルス 社会福祉法人協同福祉会 西垣靴下株式会社 株式会社LINK'S HEART 社会福祉法人正和会 SOMPOひまわり生命保険株式会社 東邦化成株式会社 社会福祉法人南都栄寿会 市民生活協同組合ならコープ 社会福祉法人ならやま会 株式会社池田工業社 損害保険ジャパン株式会社 奈良支店 山本松産業株式会社 第一生命保険株式会社奈良支店 社会福祉法人ならやま会 株式会社和田エンジニアリング 株式会社南都銀行 社会福祉法人宝山寺福祉事業団 大和信用金庫 社会福祉法人太樹会 和里(にこり) 梅乃宿酒造株式会社 大和リース株式会社奈良支店 関西電力送配電株式会社奈良支店 社会福祉法人ぶろぼの 株式会社ワズスタッフ	株式会社ニシヨシ 有限会社一吾 アイビーファイン株式会社 株式会社日本政策金融公庫奈良支店 株式会社ナカガワ 株式会社岸本製作所 山口建設株式会社 奈良中央信用金庫 社会福祉法人 功有会 特定非営利活動法人三郷サンサンハウス 社会福祉法人 萌 コマツ教習所株式会社 有限会社あいネット 社会福祉法人明徳会 社会福祉法人 和貴会 株式会社創造工舎 株式会社ファーマシー木のうた 社会福祉法人 依保会 近畿ビルサービズ株式会社奈良営業所 大塚製薬株式会社関西第一支店奈良出張所 佐藤薬品工業株式会社 株式会社天平庵 奈良県民共済生活協同組合 株式会社Women's Future Center 大阪ガス株式会社 奈良事業所	株式会社松田組 株式会社JITSUGYO 奈良交通株式会社 株式会社山見住宅 三笠産業株式会社 株式会社イベントトゥエンティワン 住友生命保険相互会社 奈良支店 イオンリテール株式会社近畿カンパニー クオリカプス株式会社 株式会社ニチイ学館 奈良支店 株式会社マスコ総合事務管理センター 株式会社砂糖増尾商店 株式会社奈良自動車学校 社会福祉法人大和清寿会 株式会社ライフエール 医療法人健和会 株式会社柿の葉し本舗たなか 富国生命保険相互会社 奈良支店 株式会社井上天極堂 社会福祉法人清光会 福岡労働経営事務所 社会福祉法人平和会 社会福祉法人望生会 株式会社ECO-ART 富士通Japan株式会社 森高建設株式会社 社会福祉法人徳真会 たけのご園 株式会社マル勝高田商店 村島硝子商事株式会社 株式会社CWS	こくみん共済 coop <全労済> 奈良推進本部 社会福祉法人晃宝会 大和ハウス工業株式会社奈良支店 奈良精工株式会社 社会福祉法人郡山双葉会 やまこども園 一般社団法人奈良県医師会 株式会社近鉄百貨店 奈良店 株式会社近鉄百貨店 生駒店 株式会社近鉄百貨店 橿原店 社会福祉法人仁南会 国見苑・さうす国見 正木商事株式会社 イオンモール株式会社 イオンモール大和郡山 大浦貴金属工業株式会社 日本生命保険相互会社 奈良支店 公立大学法人奈良県立医科大学 日進電工株式会社 株式会社五伸 三井住友信託銀行株式会社 奈良西大寺支店 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション 株式会社ヨンゲイライプリー 株式会社ノブレス・セントラル 株式会社クレーラ 株式会社リールステージ 株式会社ウーマンライフ新聞社 アート引越センター株式会社 株式会社日本ヘルアージュ 第一化工株式会社 認定NPO法人 さららの木 医療法人康仁会	社会福祉法人三寿福祉会 株式会社フルックスホールディングス 株式会社タフ タマノイ酢株式会社 本社工場 明治安田生命保険相互会社 奈良支店 株式会社尾花・ホテル尾花 田村薬品工業株式会社 奈良トヨタ株式会社 株式会社楓工務店 株式会社KBS 矢羽田建設株式会社 株式会社辰巳組 ヘルケア訪問看護ステーション 損害ジャパン パートナース株式会社 奈良支店 株式会社COMARU 大和物産株式会社 株式会社タカギ 医療法人康成会
--	---	---	--	---

会員企業も募集中!

■「なら女性活躍推進倶楽部」とは?

男性も女性も働きがいを感じ、いきいきと働き続けることができる職場づくりを、県内の企業・事業所とともに進める奈良県の事業です。

女性の就業応援ジャーナル 第4号 2023年2月発行

発行 奈良県 子育て・女性局 女性活躍推進課 〒630-8501 奈良市登大路町30 TEL:0742-27-8679

この記事は
ホームページからも
ご覧いただけます▼

